

鳥取大学グローバルCOEプログラム「持続性社会構築に向けた菌類きのこ資源活用」主催
公開シンポジウム

菌類のふしぎと他の生物との関わり合い

—菌類の生きざまを理解し、菌類を利用する—

2012年3月4日(日) 大阪市立自然史博物館1F 講堂

自然の中で菌類はしたたかに生きています。菌類が植物や動物とどのような関わりを持って暮らしているのか、またその菌類を人間はどのように利用するのか、菌類がつなぐ生物の不思議な世界をのぞいてみましょう。

共催：日本菌学会 後援：大阪市立自然史博物館

■ プログラム

12:30— 開 場

13:00—13:10 はじめに

▶鳥取大学理事(研究担当)・副学長 井 藤 久 雄

13:10—13:35 クロマツと一緒に生活するきのこ「シヨウロ」の栽培

▶霜 村 典 宏

13:35—14:00 きのこと栽培の悩みの解決を目指す!

▶松 本 晃 幸

14:00—14:25 「分解者」としてのきのこは「生産者」になれるのか?

▶會 見 忠 則

14:25—14:40 休 憩

14:40—15:05 光合成をしない植物(菌従属栄養植物)の菌根共生

▶大 和 政 秀

15:05—15:30 昆虫に栽培される菌類の生態

▶梶 村 恒

15:30—15:55 里山の生態系変化の中での菌類

▶佐久間 大 輔

15:55—16:00 おわりに

▶鳥取大学グローバルCOEプログラム 拠点リーダー 前 川 二太郎